

## 式 辞

春の風薫り、早春の気のみなぎる本日、本校に本科1年生214名、編入学生2名、留学生1名、ならびに専攻科生47名、計264名の皆さんを迎えまして、大変うれしく思っております。

ご列席の来賓の方々、保護者の皆様、並びに全ての本校教職員と共に、皆さんの入学を祝いたいと思います。皆さん、誠におめでとうございます。

15歳からの早期専門教育を特徴とする高専は、時代にふさわしい、「高度専門能力と幅広い知識を有するグローバル人材の育成」を使命としています。そのため、皆さんと同世代の諸君が通う高校とは違って、講義だけでなく、大学と同様に、高度な設備を使用する実験や実習も行われます。全国で、中学校卒業生数118万人、高等学校等進学者117万人の内、わずか11,000人の高専の入学者のみが、このような恵まれた教育環境で勉学に励むことができるのです。当然、卒業後の皆さんに期待されるものは大きくなります。

本科入学生の皆さんはこれまで中学校では「生徒」と呼ばれてきたことと思います。普通科高校へ進学した皆さんの同級生は相変わらず生徒と呼ばれます。しかしながら、北九州工業高等専門学校は、普通科高校とは異なり、大学と同様に、皆さんの事を「学生」と呼びます。生徒と学生とは全く異なります。「学生」の皆さんということは、自立した人格が認められているということであり、これをお互いに尊重し合うことが大切です。このことは独立した個人の権利と、それに伴う責任があることを意味します。何事においても責任ある行動を期待しています。

新入生の皆さんはこれから北九州工業高等専門学校において学習に励み、准学士あるいは学士の資格を取得後、実社会で活躍してもらうこととなります。このところ、本科卒業生の約半数は、更なる知識と技術の修得を目指して、他大学へ編入、あるいは、2年間の専攻科へと進学して大学卒業と同等な学士の学位を取得しています。進学した学生の約半数は大学院に進学しています。このように、新入生の皆さんの将来の進路には多様な選択の道が開かれています。いずれの道に進むにしても、科学技術立国日本を支えるエンジニアとしての基礎を、在学中にしっかり身につけてもらいたいと願っています。

本校は、昭和40年に設立され、今年、48年目を迎えます。「明るい未来を創造する開拓型エンジニアの育成」が本校の教育方針であり、技術立国を担う人材を社会に送り出す事が我々の使命です。産業界からの期待は大きく、これまでの本校の卒業生は約6900人で、実際にその多くが産業界の第一線で活躍しています。皆さんも、皆さんへの期待が大勢の先輩の実績に基づくものであることを認識し、自信を持って、学生生活に取り組んで欲しいと思います。

皆さんが本校に入学した目的を、今一度、再認識して頂きたいと思います。自分がやりたい、なりたいと思うことを明確にしてください。なりたい、やりたいという気持ちさえあれば、それに伴って行動も起こせるようになります。その気持ちが強ければ強いほど、実現する可能性も高くなってきます。

夢や目標を持つ人とそうでない人とでは日々の過ごし方が変わってきます。自分なりの高い目標を持ち、目標達成のため、困難から逃げずに立ち向かえる人になってほしいと思います。この言葉を忘れず高い理想を持ち続け、世界に貢献できる自立したエンジニアになって下さい。

皆さんが独り立ちしていく手助けをするために、我々、教職員がいます。迷ったり、壁にぶつかったりした時には、遠慮なく我々にご相談下さい。

以上が、本校に入学される諸君に私から贈る言葉です。

結びにあたり、ご臨席の保護者の皆様ならびにご来賓の皆様には、この若者たちが人間として成長していく大切な時期に、ぜひとも手助けとなるお力添えを頂きますようお願いをいたしまして、私からの式辞とさせていただきます。

平成25年4月8日

北九州工業高等専門学校長  
塚 本 寛